



空き家対策に向けた行政情報の活用と取り組みは

公明党 松澤 堅一

●空き家対策の進捗について

Q 空き家所有者を把握するため、行政情報をどの程度活用できるのか。

A 住民票などの情報に加え、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、固定資産税の情報を内部利用することも可能となった。

●空き家対策に今後どう取り組んでいくのか。

A 今年度、空家等対策計画を策定するとともに、高齢者が所有する空き家を増やさないためのPRや空き家を不動産市場へ流通させるなどの抑制策にも取り組んでいく。

●危機管理について

Q 大規模災害や武力攻撃以外の危機管理体制はどのような

っているのか。

A 危機管理上に関わることは、統一的に危機管理課が把握すべきであるため、関係各課の意見などを参考に、危機管理体制の基本方針を作成していききたい。

●災害時に、現場を上空から撮影して確認できる、ドローンの活用を検討しては。

A 安全性や平常時を含む利用価値、維持管理などの情報収集を行い、活用できるか検討していききたい。

●心の健康の取り組みについて

Q 自殺対策計画策定に向けてのスケジュールは。

A 国のガイドラインや県の計画を踏まえ、平成30年度中の策定を予定している。



7月24日、25日小学生広島派遣事業で、児童が戦争の悲惨さや平和の尊さについて学びました<広島平和記念公園にて>



豪雨対策となる比留川遊水地整備工事の早期完成を

新政会 比留川政彦

●比留川遊水地の進捗状況について

Q 近年の豪雨などを考慮すると比留川遊水地の早期整備完成を望むが、説明会の開催状況と工事の進捗状況は。

A 平成29年1月に土地権利者を対象とした説明会を開催し、用地買収などの理解を得られている。4月に深谷川用水事業組合、6月に落合自治会の6・7・8区を対象とした説明会をそれぞれ開催し、意見交換を行った。工事は7月上旬に着工し、平成29年度内完成を目指し進めていく。

Q 遊水地の工事区域内にある農業用水路は、新幹線南側の水田へ水を供給しているが、水路の切り回しをどう考

えているか。

A 遊水地の堤防に沿って東側の道路側へ切り回しを行い、下流側水田への水の供給を計画している。

●深谷中央特定土地区画整理事業のまちづくりの進捗状況と今後の予定について

Q 区域内で住居表示を実施する具体的な目的は。

A 既存住所は、土地の地番を用いており、分合筆で飛び地番が生じると、郵便物などの誤配達や緊急車両到達時間への影響など、日常生活に混乱を来す。合理的で整った住居表示の実施により、日常生活の利便性、効率性を向上させ、公共福祉の増進、都市の質の向上を図る。



子どもたちの生きる力を育む教育に力を入れないか

志政あやせ 金江 大志

●子どもたちの生きる力を育む教育について

Q 生きる力を身に付けるための教育方針は。

A 生きる力を支える確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むため一人一人に合ったきめ細やかな指導の充実、道徳教育をはじめとした心の教育の推進などを行っていく。

●人工知能が発達し、人間の知能を超えるという2045年問題を研究しないか。

A 今後の急激な社会的変化の中でも、子どもたちが必



市役所や公共施設へ難聴者支援システム導入を

日本共産党 松本 春男

●公共施設利用の難聴者や視覚障がい者対策について

Q 難聴の方が公共施設を利用する際、周囲のざわつきで補聴器が聞こえにくいなどの声を聞くが、市の対応は。

A 平成29年10月開所予定の保健福祉プラザでは、窓口で簡単に利用できる携帯型の音声拡張機器を配置する。さらに、移動式の磁気ループなどを導入し、施設利用者へ貸し出す予定である。市はこれまでも難聴者への環境整備を進めてきたが、今後も必要な

配慮や支援をしていく。

●市オーエンス文化会館の大小ホールなどに赤外線補聴システムを導入しないか。

A 保健福祉プラザでの利用状況や利用者の声を聞き、導入の可否を検討していく。

●外来動物対策について

Q 近年急増している外来動物は人間に危害を加えるものが増えているが、市の外来動物の駆除状況は。

A 特定外来生物と指定されているアライグマは、平成26年度は7頭、27年度は22頭、



6月26日から7月2日まで、「平和展」が開催されました

●子育て支援のアピール方法について

Q 子育て支援策のアピール強化に向けた取り組みは。

A 子育て支援ポータルサイトの開設やスマホアプリの導入効果などを検証しながら、市民への周知と併せて、市外へも本市の魅力発信できるように取り組んでいく。



図書館の充実など今後の生涯学習施設の在り方は

あやせ未来会議 佐竹 百里

●新しい時代に対応した生涯学習施設の在り方について

Q 庁舎の市民ホールに学習スペースを確保しないか。

A 市役所1階の北側玄関から喫茶店までの範囲でリニアールを検討しており、来年度には、自由に使える学習スペースを確保したい。

●図書館は、知的資源、情報資源を提供する生涯学習施設であるため、市民ニーズへの対応や社会全体の教育力向上に貢献できるように運営が必要だと思いが、市の考えは。

A 次期指定管理者に対して、平日の19時までの開館や電子書籍の導入など、ソフト面の充実を求めている。

●放課後子ども総合プランによる放課後児童クラブの運営について

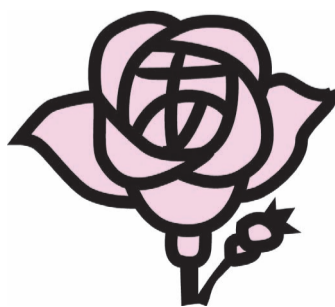
Q 民設の放課後児童クラブでは、設置や運営に負担が生じているが、市はどのような支援を行っているのか。

A 移転や改修費用の支援を行うなど、条例に適合する施設へ速やかに移行できるように相談に応じており、今後も支援を継続していく。

●公設クラブの利用を考

Q 公設クラブの潜在的ニーズを把握してはどうか。

A 公設クラブのない地域での調査は実施しており、今年度は、小学校一年生の全保護者を対象に調査を実施し、公設民設クラブを合わせた、ニーズを把握していきたい。



市の花 「バラ」

●28年度は46頭駆除している。民地の樹木剪定について

Q カーフミラー、防犯灯周辺に民地内に設置した防犯灯に木が生い茂り、支障となった場合の市の対応は。

A 基本的には樹木の所有者に剪定をお願いしているが、緊急性がある場合は、市で剪定することもある。